

令和8年度 石橋北小学校第1回学校運営協議会議事録

令和8年5月7日(木)

於 校長室

【参加者】

- ・学校運営協議会委員
江原 浩之 大塩 宗里 持田 光世 石嶋 和夫 野口 文夫 寺内 利之
渡辺 佳通 勝俣 真樹子 岡本 直美校長 高田 めぐみ 地域連携教員
- ・統括地域学校協働活動推進員 坪山 仁 海老原 忠
- ・事務局 澤田 貴典 教頭 平塚 優子 教務主任

開会

○自己紹介(名簿順)

1 校長あいさつ

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今年度がスタートして1ヶ月が過ぎ、新1年生23名、そして今年度着任した教職員も、少しずつ学校生活に慣れてきたところです。実は、先月の21日に、下校後に遊びに出かけた6年生が、自転車の飛び出しによる交通事故に遭ってしまいました。幸い命に別状はなく、回復も順調で一安心しているところですが、学校では交通安全について十分気をつけるよう改めて児童に指導いたしました。本日の第1回学校運営協議会では、学校の基本方針についてご理解いただくとともに、地域でどのような子どもを育てるのかという目標やビジョンを共有していただければと思います。保護者、そして地域の皆様のお力添えをいただきながら、共に子どもたちを育てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

2 任命書交付 代表 昨年度会長 大塩 宗里委員

3 会長、副会長選出、組織構成

- (会長) 江原 浩之
- (副会長) 大塩 宗里
- (環境整備支援部) 野口 文夫 江原 浩之
- (学習支援部) 大塩 宗里 渡辺 佳通
- (図書活動支援部) 持田 光世 勝俣 真樹子
- (防犯支援部) 石嶋 和夫 寺内 利之

4 協議内容(進行・・・会長)

会長

(1) 石橋北小学校 学校運営協議会運営規定について

・配られている資料をよくお読みください。細かいことについてのご意見等があれば、この後の質疑の際に御意見を伺いたと思います。学校運営協議会のマニュアルも読んでいただき、学校と地域の立ち位置についても確認してください。

教頭

・補足説明をします。委員の方々に事前に送付してあります、市の学校運営協議会マニュアルというものもありますので、そちらも後でゆっくりご覧ください。また、別紙で学校運営協議会運営規定ということで、本校の運営規定もありますので、これに基づき学校運営協議会を運営していきます。よろしくお願いいたします。

今、会長さんに進行をお願いしていますが、それは、この運営規定第7条にあるように、「会長は、協議会の会議を招集し、議事をつかさどる。」ということで、進行をしていただいています。そのようなこともこちらの規定に書いてありますので、ご確認ください。

校長

(2) 令和8年度学校運営の基本方針について(学校概要、経営方針等)

《学校概要・プレゼンテーションソフト等による説明》

【教育目標】 心豊かな子 進んで学ぶ子 健康でたくましい子

【目指す児童像】 豊かな心をもち助け合う子ども

自ら考え進んで学ぶ子ども

明るく健康でたくましい子ども

【目指す学校像】 学ぶ魅力のある学校(児童にとって)

応援・支援のしがいがある学校(保護者・地域にとって)

働きがいを実感できる学校(教職員にとって)

【重点目標】

1. 基本的な生活習慣や規範意識を育てるとともに、自己有用感や社会性を醸成し、豊かな心を育てる。
2. 学ぶ意欲を高め、知識・技能を習得し、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成し、学びに向かう力を育む。
3. 健康安全の保持増進を図り、豊かな体を作る。

☆学級数及び児童数:通常6学級 特別支援2学級 合計144名(開校して以来最も少ない)

☆職員について:職員数21名 平均年齢42.1歳

【目指す教師像】子どもの主体的な学びのために何ができるか支援・伴奏する教師

【学校経営方針】認め合い、励まし合い、助け合う学級を基盤とした学校づくり

☆学級を基盤とし、その集合体が学校である。

- 具体策
- 1 「心の教育」の充実
 - 2 「確かな学力」の定着
 - 3 「ねばり強く取り組む力」の育成
 - 4 「信頼される学校づくり」の推進

・本校の教育目標は「心の教育」を最初に掲げています。豊かな心の育成を基盤とし、確かな学力や健康・体力を育てていきます。

・「心の教育」の充実に向けて取り組んでいます。

☆「石北小の当たり前」・「3A運動」の推進

3A運動:1 あいさつができる子

2 あいての気持ちを考えられる子

3 あきらめずにがんばる子

☆縦割り班(レインボー班)活動

全校遠足において、班毎に活動や目標についての話し合い

→活動を積み重ねることで、子どもたちの心の成長

☆各種体験活動

・田植え・稲刈り、花いっぱい学校づくり(緑の羽根募金、ミニストップによる花の輪運動)、花育(花束づくり)、野菜づくり、ふくべ細工づくり体験活動などを行っています。

☆「確かな学力」の定着に向けて

- 主体的に学びに向かうための授業の工夫（職員研修の実施）
- O.T.Tによる細やかな指導
- タイピング力の育成（市全体の取組）→タイピングタイムの実施
- タブレット端末を活用した個別最適な学び（職員研修の実施）

☆「ねばり強く取り組む力」の育成について

- 業間のスポーツタイム（体づくり）
- あせの日（勤労・奉仕活動）
- 栄養教諭による食育授業
- 様々な場面を想定した避難訓練

☆「信頼される学校づくり」の推進について

- スクールガードボランティアによる安全確保（感謝の会の実施）
- ボランティア活動報告会→ボランティアさん同士の連携
- 子どもを守る家確認・訪問
- 引渡訓練（1年生）
- 廃品回収（年2回）
- 子どもにとってわかる授業の実施（職員研修の実施）
- 充実した家庭教育学級

・認め合い、励まし合い、助け合う学級づくりを基盤とした学校づくりに努めていきます。学校と家庭と地域が協力しながら同じ方向を向き、子どもたちを育てていくことが大切だと考えています。今後ご協力をよろしくお願いいたします。

☆4月、5月の児童の様子紹介

- 入学式（全校児童参加）
- 1年生初めての給食（保護者による配膳ボランティア）
- 第1回避難訓練
- スマートIC現場見学
- 授業参観
- 交通安全教室

(3) 質疑

会長

・何か質問等ございましたら、こういう機会ですのでお話しいただきたいと思います。

委員

・学校給食についてですが、給食費が今年度より市や国で負担になり、保護者負担から変わりました。食料費が高騰している今、十分な給食が栄養的に賄えているのでしょうか。保護者の間でも、給食についての話題が挙がっています。自費負担でいいので、給食を保護者が食べる機会を検討していただければと思います。

校長

・メニュー的には変わってはいません。食べていただく機会があれば、栄養士と相談していきたいと思えます。

- 委員 ・何かの機会と一緒に食べることで、こんな物を食べているのだなと分かるし、家庭での食事を見直すことにもつながると思います。また、黙食についても検討していただければと思います。
- 校長 ・校内でも検討していきたいと思います。
- 委員 ・今年から給食費は全く払わないのですか。
- 校長 ・はい。市の方で負担していただいています。
- 委員 ・今までは月いくらですか。
- 校長 ・月5500円です。
- 委員 ・自校給食で、内容的には変わらず提供できるのですね。学校にとって今までと変わったことはないですか。親から徴収しなくて済むのであれば、かえって楽になりましたね。
・先ほど学校概要について説明していただき、「心の教育」に力を入れていることが分かって、学校というのはそれが大事だと思いました。しかし、地域では、実際にはあまり子どもたちが挨拶をしないと言われていいます。この間入学式に来て、とても元気よく子どもたちに挨拶をもらったので、私もとても気持ち良かったです。それが地域でもあるとよいと思います。声を掛けてもなかなか返ってこないの、どうなっているのだろうという意見が聞かれます。近年、夏休みのラジオ体操に参加しても、挨拶をしてくれなくて寂しい思いをしています。やはり、学校の中だけでなく、地域の人たちとそのようなコミュニケーションが取れると、地域の人が可愛いと思い、どんどん学校に協力してくれると思うので、そのようなところを育てていただけるとさらに良い学校になると思います。
また、気になったことですが、学力的に県の平均に比べるとかなり下がっています。これについて、保護者の方から意見などはありませんか。10ポイントも下がっているというのは大きいと思います。学力面でも授業についても頑張っていただきたいと思います。
- 校長 ・今のところはありません。でも、私個人としてはがんばっていかないとと思っています。
- 委員 ・何年か学校運営協議委員として参加していますが、本校ではずっと前から「心の教育」を教育目標の第1番目に掲げています。他の学校では、知・徳・体のような形で掲げる所が多いですが、石北小では「徳」を先に挙げ、それを先生方が胸を張っておっしゃられるというところが素晴らしいと感じています。是非今後も続けていただき、学力も上げていただければと思います。
- 委員 ・私は、スクールガードボランティアをしています。1年生が入学するとまず、名前を覚えようと思っていて、「〇〇ちゃん、おはよう。」と名前を呼んでから挨拶をするようにしています。そうすると、2~3日たつと、子どもの方から「おはようございます。」と言うようになります。なるべく名前を言ってから声を掛けると、給食のことなど、色々話してくれるようになります。先ほど、給食の話も出ましたが、子どもに「何食べた?」「おいしかった?」などと問いかけるようにすると、子どもは正直なので、答えてくれると思います。だから、学校まかせてではなく、家庭での食事中に話題として出すなどしてもいいのかなと思っています。挨拶についても、子どもに「挨拶しろ。」というだけでなく、周りの大人が積極的に声を掛けると安心すると思います。

- 委員 ・先日小山市の園芸店の社長さんと話す機会がありました。話の中で、小山市の学校の桜の木にカミキリムシがついていて大変なので、木を切ってきたという話を聞きました。石橋北小の桜は大丈夫ですか。
- 教頭 ・昨年度、樹木屋さんに点検していただき、危ないと思われる木は何本か切っていただきました。西側中心に切りました。東側は、診断していただいたところ、まだ大丈夫とのことでした。
- 委員 ・私の経験ですが、学校の木に防虫剤を散布したら、学校脇の家に虫が逃げて行ってしまったことがありました。一方で、学校の木から落ちた葉を毎日掃除してくださる方もいました。そのような方はどんどん減っているということですね。だから、虫や落ち葉がクレームの元になってしまう時代なのだと思います。
- 会長 ・スマートIC 開通後の交通状況について心配があります。文教通り南部には、道の両側に歩道と自転車が通ることができる場所が設置されています。しかし、高速道路北側の文教通りには歩道が片側しかありません。高学年になると、自転車で行動することが増えます。また、中学生では通学に文教通りを使うことが多くなります。高速道路を挟んで南側は、ある程度車道と歩道の区別がはっきりしているので安全確保ができていますが、北部は歩行者に関しては安全かもしれませんが、自転車については危ない面があります。交通量が多い部分もあり、自転車事故についての事案が増えてくる可能性が高いと思います。学校では、交通安全教育を徹底してくれていますが、ハード面が追いついていない様子です。4月から自転車交通ルールが強化されている今、自転車通行帯も整備してほしいと思います。スクールガードボランティアさんからもそのような要望が入っています。
- 委員 ・春か秋に学校と市で学校周りの交通安全について協議し、改善していくというように聞いています。しかし、ここ7～8年何も変わっていません。市からの改善案はなかなか得られないため、そのような提案が得られると良いと考えています。学校だけでなく、我々も共に提案していかないと変わらないと思います。
- 委員 ・私は、下野市都市計画マスタープランという会議に参加しています。自治会長からの要望や学校からの要望は、市で全部分かっています。しかし、それが継続されていないので、要望を出し続けたいと感じています。また、議員に訴えたり、市長のいきいきトークタウンや警察との会議などで訴えたりと、伝え続けていくしかありません。機会があれば皆さんで言い続けていくしかないと思います。
- 委員 ・登下校の交通安全について、下野新聞の投書欄に益子町の小学6年生の投書がありました。交通安全教室を通じて、交通安全や班長としての意識が高まったと書いてありました。学校の活動で、学校の周りを班毎に歩くという体験をすれば、登下校に関する考え方も違ってくるのではないのでしょうか。下校時の子どもたちは、上級生が下級生の様子をよく見ているので、安心しています。
- 校長 ・朝の登校の様子を見ていても、班長は後ろを振り返りながら歩いています。よくやってくれていると思います。
- 委員 ・登校班についてですが、上級生の言うことを聞いてくれないという声もあります。それを改善していく必要があると思います。先生方から子どもたちに、上級生が注意をしてもだめな場合は、先生に相談するシステムを作ってほしいと思います。

教頭	・現在もそのような指導を行っています。
委員	・それでも言うことを聞いてくれないという子もいるようです。
会長	・質疑は他にありますか。
委員	・道路の件についてですが、文教通りが市道か県道かで、訴える部署が違うので、確かめることが必要です。
会長	(4)承認 ・できるところからやっていただくことにしたいと思います。今までの質疑に関して、持ち帰ってもらうものもありますが、全体として承認していただけるということでよろしいでしょうか。
各委員	・拍手
推進員	(5)統括地域学校協働活動推進員より ・来年4月に石橋中学校区において立ち上げる地域学校協働本部について、資料に基づき説明させていただきます。地域学校協働本部とはどんなものかという、先ほど皆さんから出たいろいろな意見で言うと、一つの事例として、登下校の見守りなどを、地域と連携を取りながら進めるということも、活動の一つになるかと思えます。道路整備等のハード面は市や警察にお願いするが、地域の方の協力を得たり、連携を取りながら子どもたちの見守りをお願いしたりしていくことも、この地域学校協働本部の活動になります。地域学校協働本部は、地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもたちの成長を支え合おうという組織です。また、地域との交流を通じて地域づくりや地域の活性化につなげ、学校を核とした地域づくりも目的となっています。昨年度は国分寺中学校区に本部を立ち上げ、今年度4月から本格的に活動を始めました。今年度は、令和9年4月から石橋中学校区で協働本部が稼働できるように、立ち上げの準備を進めていきたいと考えています。資料にあるのが、石橋中学校区の地域学校協働本部のイメージ図です。学校や学校運営協議会で話し合われた学校への支援や学校の困りごとについて、協働本部に登録していただいた地域の方々、PTAの方々や様々な団体の方々など、幅広い地域の方々の参画をいただいて学校支援活動の実働部隊として活動していただくのが地域学校協働本部というものになります。そして、学校・学校運営協議会と協働本部をつなぐ存在が、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）という方で、それぞれの学校に1名程度配置されるようになります。地域コーディネーターは、各学校に配置し、地域と学校をつなぐ活動をしていただきます。資料2枚目はスケジュールになります。4月と5月にそれぞれの学校で説明をし、5月からそれぞれの学校を訪問し、学校がどのような支援を希望しているかや、現在支援をいただいている団体の現在の状況についての話を聞かせていただきます。7月には、協働本部に登録していただける団体が、支援内容について学校と協議をし、石橋中学校区にある合同学校運営協議会にも意見をいただきながら、進めていきます。9月からは、地域コーディネーターや協働本部に参加していただける方に個別に訪問し、本部に入っただけかどうかのでの了承をいただきます。来年4月には本格的に稼働できるよう進めていきます。今後皆さんのご意見を伺う機会があると思えますので、その時は御協力よろしくお願いします。
会長	・ありがとうございました。学校運営協議会としても、協力をしていきたいと思えます。

5 事務連絡

第2回学校運営協議会は12月10日(木)、第3回は2月5日(金)を予定しています。また、現段階での本校の年間行事予定もお配りさせていただきました。

閉会